

厚生労働省岐阜労働局  
多治見労働基準監督署 発表  
平成23年5月23日

| 担 当        |                  |
|------------|------------------|
| 多治見労働基準監督署 | 署長 澤田幹男          |
| 安全衛生課長     | 片桐正文             |
| 電 話        | 0572 - 22 - 6381 |

## 「建設業労働災害防止講習会」の開催について

### 死亡災害の撲滅を目指します

多治見労働基準監督署（署長 澤田幹男）は、下記により管内の建設事業者に対して労働災害防止講習会を開催します。

多治見署管内の平成22年における休業4日以上労働災害発生状況は、全産業で285件となっており、対前年で7.5%の増加となりました。

特に、建設業においては、一酸化炭素中毒、交通労働災害、墜落災害により3人の尊い命が失われ、休業4日以上死傷者数も43件発生し、前年比65.4%の大幅な増加となったことから、建設現場における安全活動が低調となっていることが懸念されます。

こうした状況から、平成23年度

### 「建設業の労働災害防止の推進（死亡災害の撲滅と災害の減少）」

を労働基準行政の優先的な課題として位置付け各種施策に取り組んでいますが、全国安全週間（準備期間含む）を迎える前に、建設現場の安全活動の充実と安全意識の高揚などを目的とした安全講習会を開催することとしたものです。

#### 記

- 1 日 時 平成23年5月25日（水） 午後1時30分から午後3時30分頃
- 2 場 所 多治見市文化会館 大会議室（多治見市十九田町2丁目8番地）
- 3 内 容 建設現場における労働衛生関係法令の遵法状況  
労働災害の発生状況と墜落災害、熱中症などの労働災害防止対策
- 4 参加者 多治見署管内の建設業の事業主、安全担当者約90名

# 平成23年度 多治見労働基準監督署の行政上の課題

## 優先課題

労働災害の発生状況などを分析した結果、次の二つを優先的な課題として、講習会の開催、各種指導等に取り組みます。

### 建設業の労働災害防止の推進

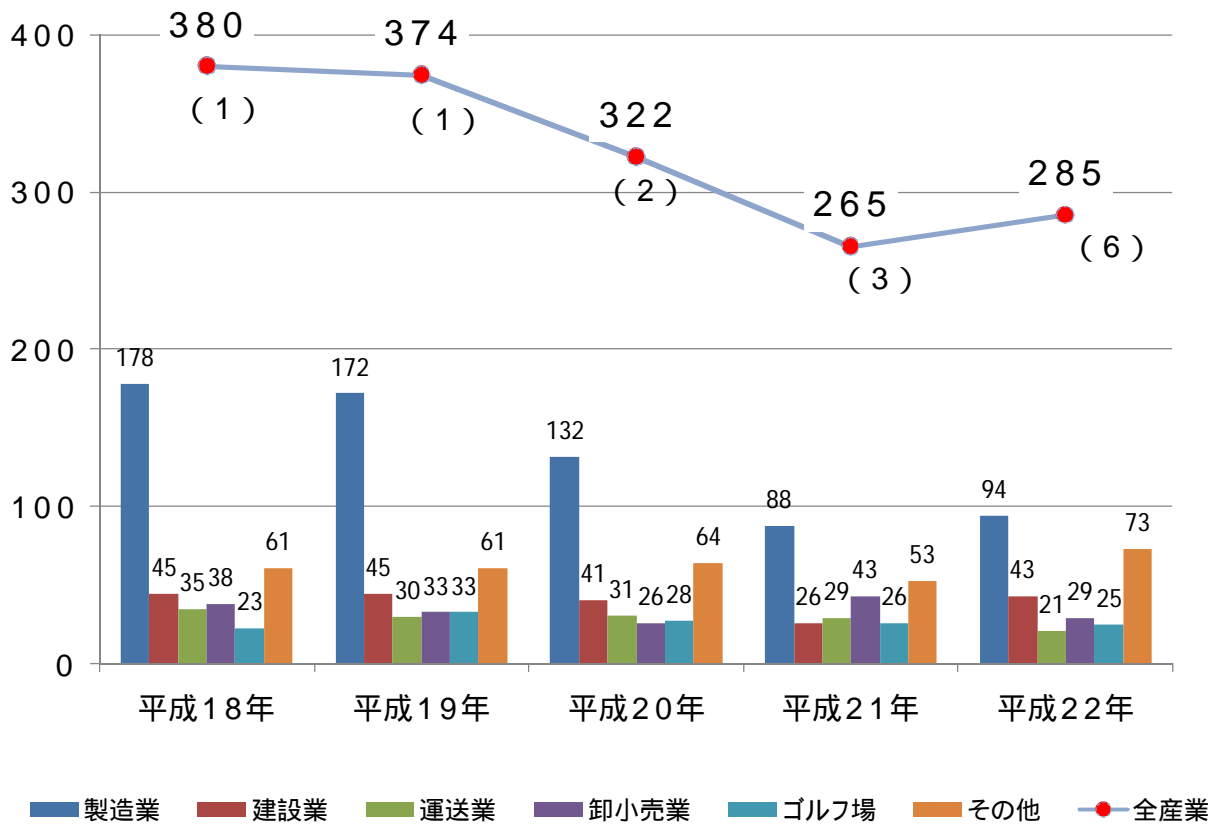
#### (死亡災害の撲滅と災害の減少)

- ・ 墜落災害防止対策の徹底（改正足場基準の遵守）
- ・ 熱中症予防対策の徹底
- ・ 重機、土砂崩壊対策の徹底
- ・ リスクアセスメントの普及促進 等

### 過重労働による健康障害防止対策の推進

- ・ 長時間労働の削減
- ・ 衛生管理体制の確立
- ・ 面接指導制度の確立と適切な運用
- ・ メンタルヘルス対策 等

(参考) 年別業種別労働災害発生状況



労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害。( )内は、死亡者数。